



AGS株式会社

東証2部 証券コード3648



2013年3月期 決算説明会資料

2013年5月

- I. 会社概要
- II. 2013/3期実績
- III. 2014/3期見通し
- IV. 今期の事業戦略

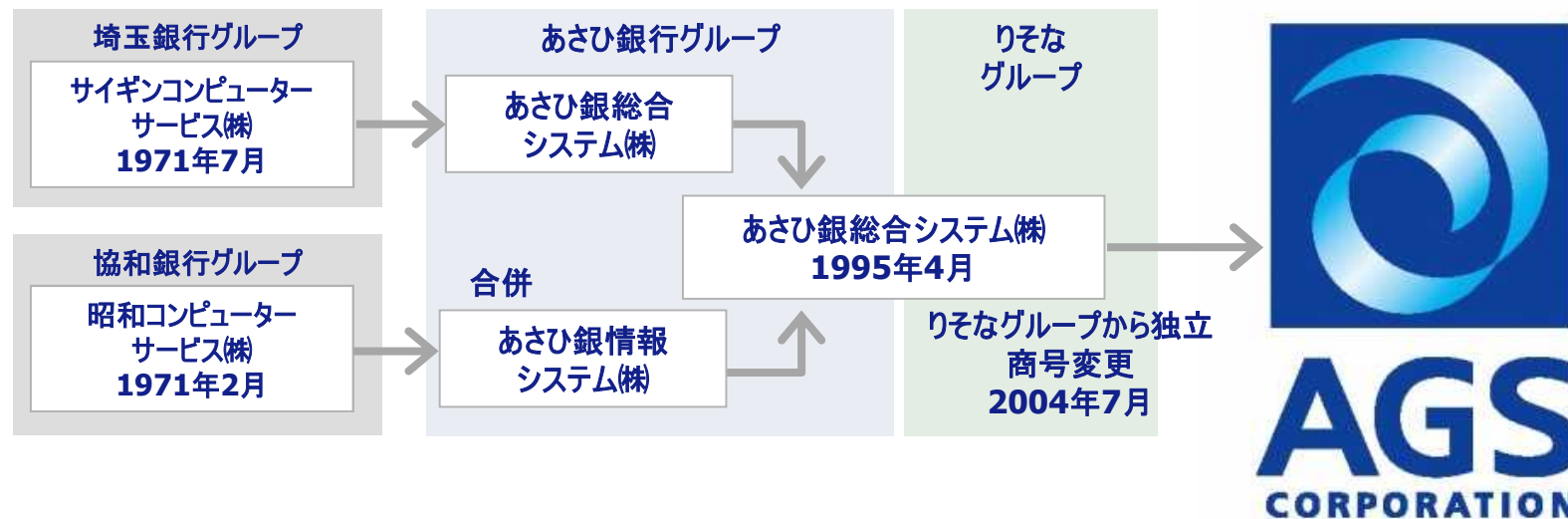
I . 会社概要

1. AGSグループ概要

商号	AGS株式会社	 (本社:AGSビル)	 (さくら浦和ビル)
設立	1971年7月		
資本金	1,398百万円		
従業員数	連結 935名 (2013年3月末時点)		
本社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25		
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 ➤ ソフトウェア開発、情報機器の導入・保守他 AGSプロサービス株式会社 ➤ コンピューターシステムの運営他 AGSシステムアドバイザー株式会社 ➤ システムコンサルティング		

2. AGS沿革

東京証券取引所
市場第二部上場
2011年3月



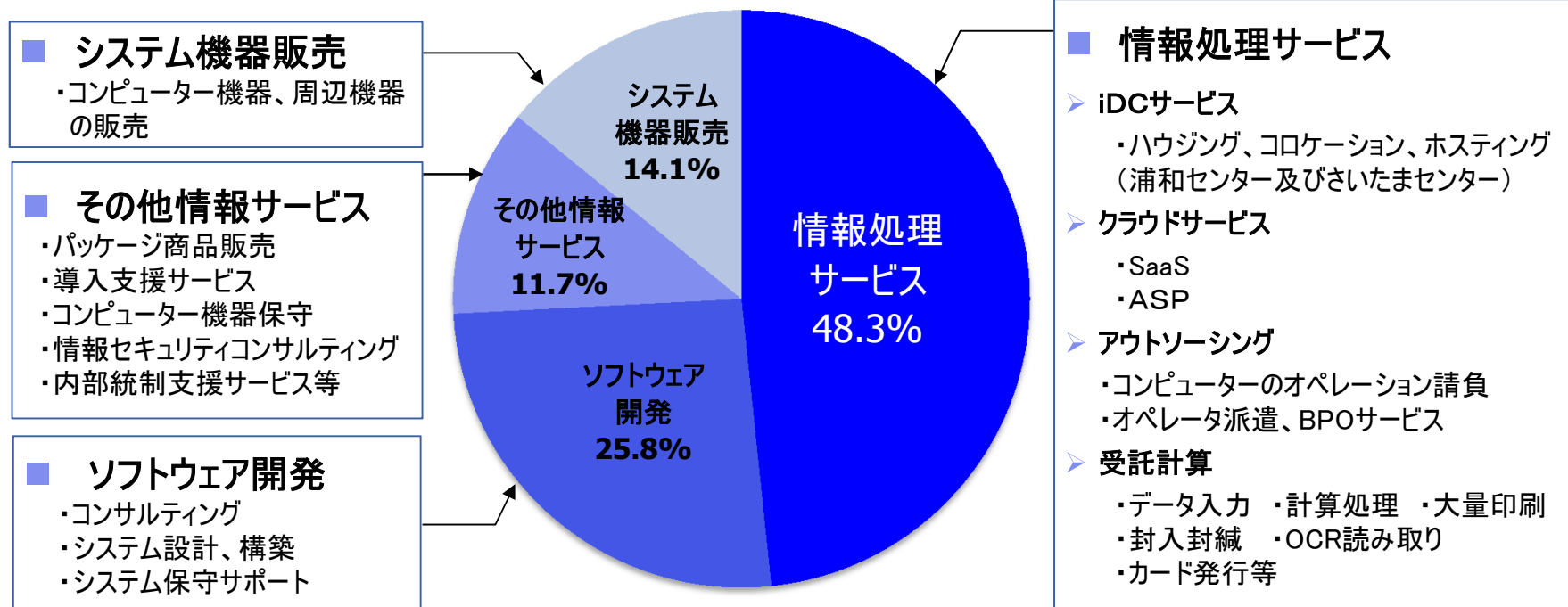
2003年1月	本社内にインターネットデータセンター「さいたまiDC」を開設
2010年2月	浦和ソリューションセンター開設
2011年3月	東京証券取引所市場第二部に上場
2012年3月	インターネットデータセンター「さいたまiDC」新センターを開設

3. 連結セグメント別売上高構成比

SIBビジネス

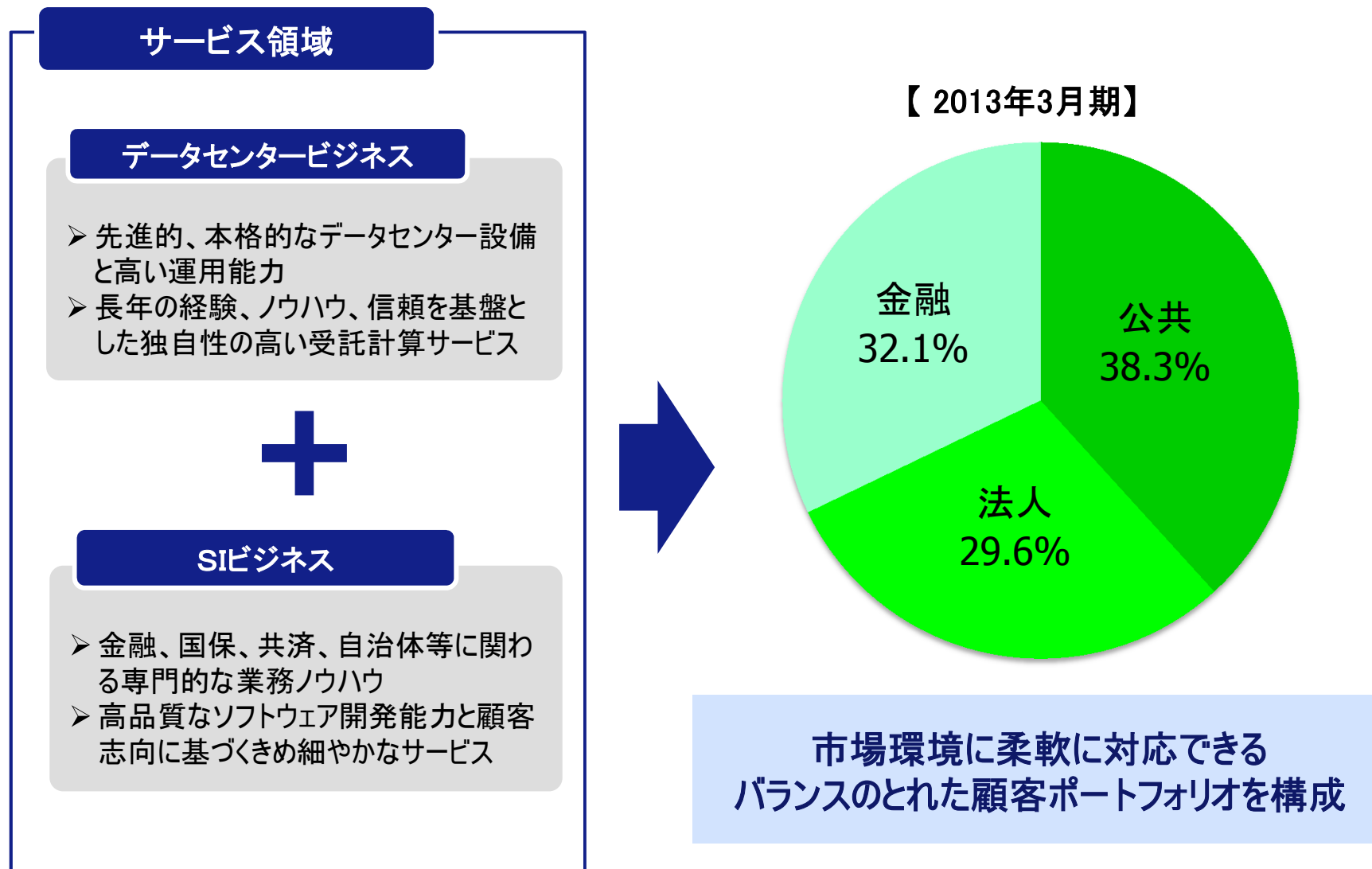
【2013年3月期】

データセンタービジネス



情報処理サービスを中心に総合的なソリューション・サービスをワンストップで展開

4. 連結顧客領域別売上高構成比



Ⅱ . 2013/3期実績

1. 2013/3期実績 サマリー

(単位:百万円)

	2012/3期	2013/3期			2013/3期 予想 (1/30発表)
	金額	金額	増減	増減率	金額
売上高	16,294	16,862	568	3.5%	16,700
売上総利益	3,953	3,468	▲484	▲12.3%	—
営業利益	875	495	▲379	▲43.4%	470
営業利益率	5.4%	2.9%	▲2.4P	—	2.8%
経常利益	898	541	▲357	▲39.8%	510
当期純利益	405	289	▲116	▲28.6%	270
一株当たり当期純利益(円)	82.65	59.18	▲23	▲28.4%	55.02
一株当たり配当金(円)	36.00	36.00	0.00	—	36.0
ROE(当期純利益)	4.4%	3.1%	▲1.3P	—	—
ROA(経常利益)	6.3%	3.7%	▲3.7P	—	—

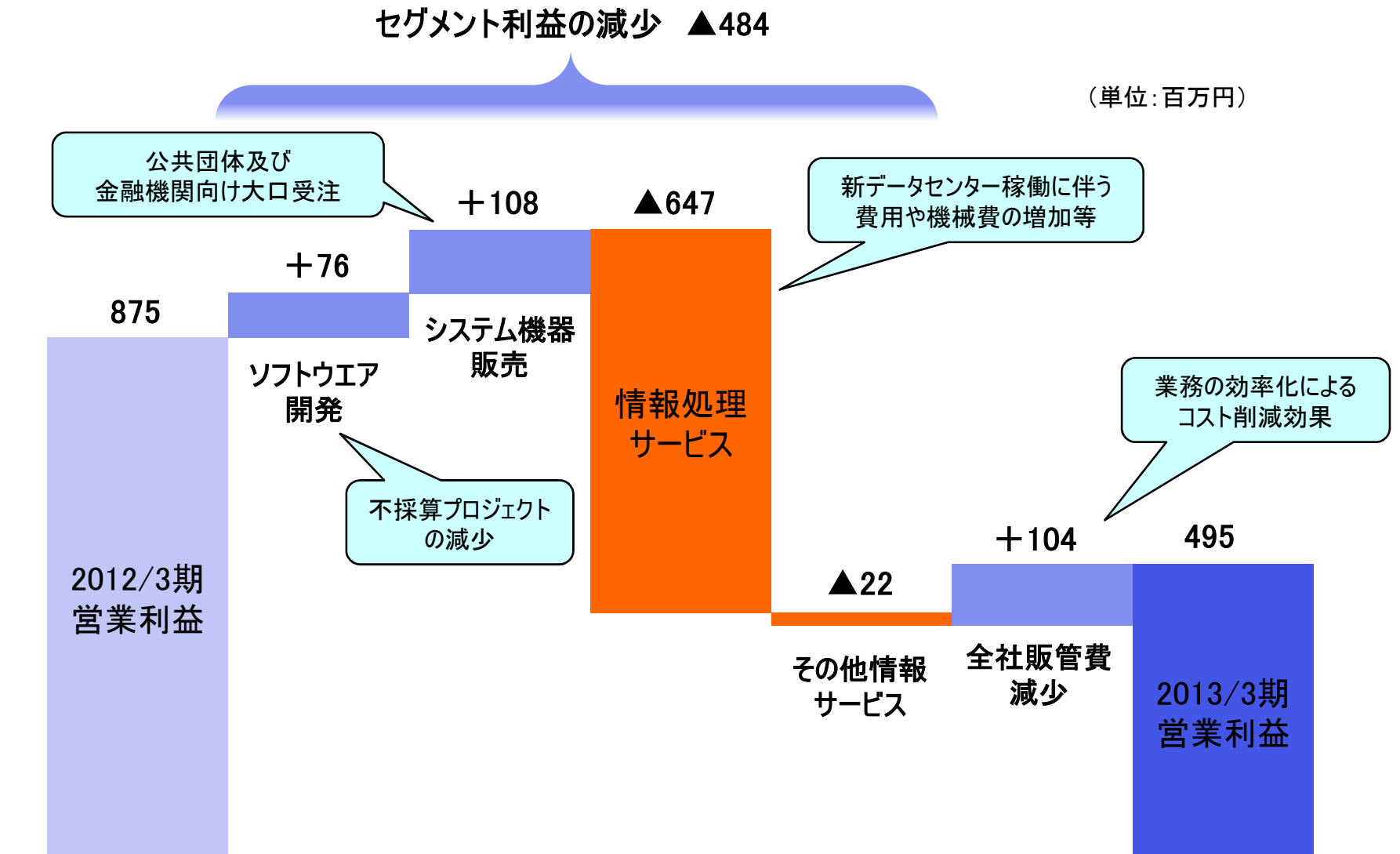
- 売上高は、公共団体及び金融機関向けシステム機器販売が堅調であったこと等により増収
- 利益は、新データセンター稼働に伴う費用の増加や情報処理サービスにおける機械費の増加等により減益

2. 事業セグメント別収益状況

		(単位:百万円)	2012/3期	2013/3期		
			金額	金額	増減	増減率
情報処理 サービス	受託計算		4,290	4,107	▲182	▲4.3%
	アウトソーシング		2,492	2,536	43	1.7%
	iDCサービス・インフラサービス		1,120	1,333	213	19.1%
	クラウド		177	173	▲4	▲2.3%
	売上高		8,081	8,151	70	0.9%
	セグメント利益(営業利益)		1,352	705	▲647	▲47.9%
ソフトウェア 開発	売上高		4,929	4,356	▲573	▲11.6%
	セグメント利益(営業利益)		606	682	76	12.5%
その他情報 サービス	売上高		2,100	1,971	▲128	▲6.1%
	セグメント利益(営業利益)		221	199	▲22	▲10.0%
システム 機器販売	売上高		1,183	2,382	1,199	101.4%
	セグメント利益(営業利益)		82	191	108	130.8%

- 情報処理サービス iDC及びアウトソーシング案件等の増加により増収
データセンター稼働に伴う費用や機械費の増加等により減益
- ソフトウェア開発 公共団体及び一般法人向けソフトウェア開発案件の減少により減収
不採算プロジェクトの減少より増益
- その他情報サービス 公共団体向けパッケージソフト販売の減少により減収減益
- システム機器販売 公共団体及び金融機関向け機器販売の大口受注により増収増益

3. 営業利益前年比較



4. 貸借対照表

(単位:百万円)

		2012/3期末		2013/3期末		主要増減要因
		金額	金額	金額	増減	
	流動資産	5,426	5,777	351		有価証券の増加、現金及び預金の増加
	固定資産	9,316	9,121	▲195		建物及び構築物の減価償却等による減少
資産合計		14,742	14,898	155		
	流動負債	2,944	2,707	▲237		リース債務の減少、未払法人税等減少
	固定負債	1,999	2,363	364		新センターへの設備投資によるリース債務(長期)の増加
負債合計		4,943	5,070	127		
	株主資本	9,254	9,244	▲10		自己株式の取得
純資産合計		9,799	9,827	28		
負債純資産合計		14,742	14,898	155		
自己資本比率		63.3%	63.3%	0.07P		

5. キャッシュ・フロー表

(単位:百万円)

	2012/3期	2013/3期	
	金額	金額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,418	2622	1,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲578	▲763	▲184
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲649	▲769	▲120
現金および現金同等物の増減額	190	1,090	899
現金および現金同等物の期末残高	1,986	3,077	1,090

Ⅲ. 2014/3期見通し

1. 業績予想サマリー

(単位:百万円)

	2013/3期 実績	2014/3期 予想		
	金額	金額	増減	増減率
売上高	16,862	16,400	▲462	▲2.7%
営業利益	495	550	54	10.9%
営業利益率	2.9%	3.4%	0.4P	—
経常利益	541	630	88	16.4%
当期純利益	289	370	80	27.8%
一株当たり当期純利益(円)	59.18	75.66	16	—
一株当たり配当金(円)	36.00	36.00	0.00	—

2. 事業セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2013/3期 実績	2014/3期 予想		
		金額	金額	増 減	増 減 率
情報処 理サ ービ ス	売上高	8,151	8,320	168	2.1%
	セグメント利益	705	910	204	29.0%
ソフトウエ ア開 発	売上高	4,356	4,530	173	4.0%
	セグメント利益	682	570	▲112	▲16.5%
その他情 報サ ービ ス	売上高	1,971	1,950	▲21	▲1.1%
	セグメント利益	199	110	▲89	▲44.8%
シス テ ム 機 器 販 売	売上高	2,382	1,600	▲782	▲32.9%
	セグメント利益	191	40	▲151	▲79.1%

IV. 今期の事業戦略

1. 市場環境認識(顧客動向)

<公共>

- ITコスト削減ニーズがある中、クラウド等の共同利用化等の動きが高まる。
- マイナンバー制度導入等の制度改正に伴うITサービス提供の需要が見込まれる。



<法人>

- 経済の緩やかな回復を背景に成長基調が見込まれるが、IT投資には不透明感がある。
- BCPやクラウドの普及に伴ない、データセンターに関する需要は引き続き高まる。



<金融>

- 金融市場は安定した業績に支えられ、引き続き堅調なIT投資が期待できる。
- 大手銀行のIT投資は勘定系システムに代わり情報系システムが主流となる。地銀、信金は勘定系を含むシステムの共同利用が進む。
- 震災の教訓を受けた「事業継続・災害対策」投資が継続される。



2. 長期経営計画 重点施策

Challenge2021 (2012年－2016年)

1. データセンタービジネスの強化・拡大
2. SIビジネスの変革
3. 営業力強化
4. 競争力強化に向けた人事施策の推進
5. 新規事業の創出および新規市場の開拓
6. コーポレートガバナンスの充実とCSR活動の推進

経営方針

持続的に成長可能な経営基盤の構築

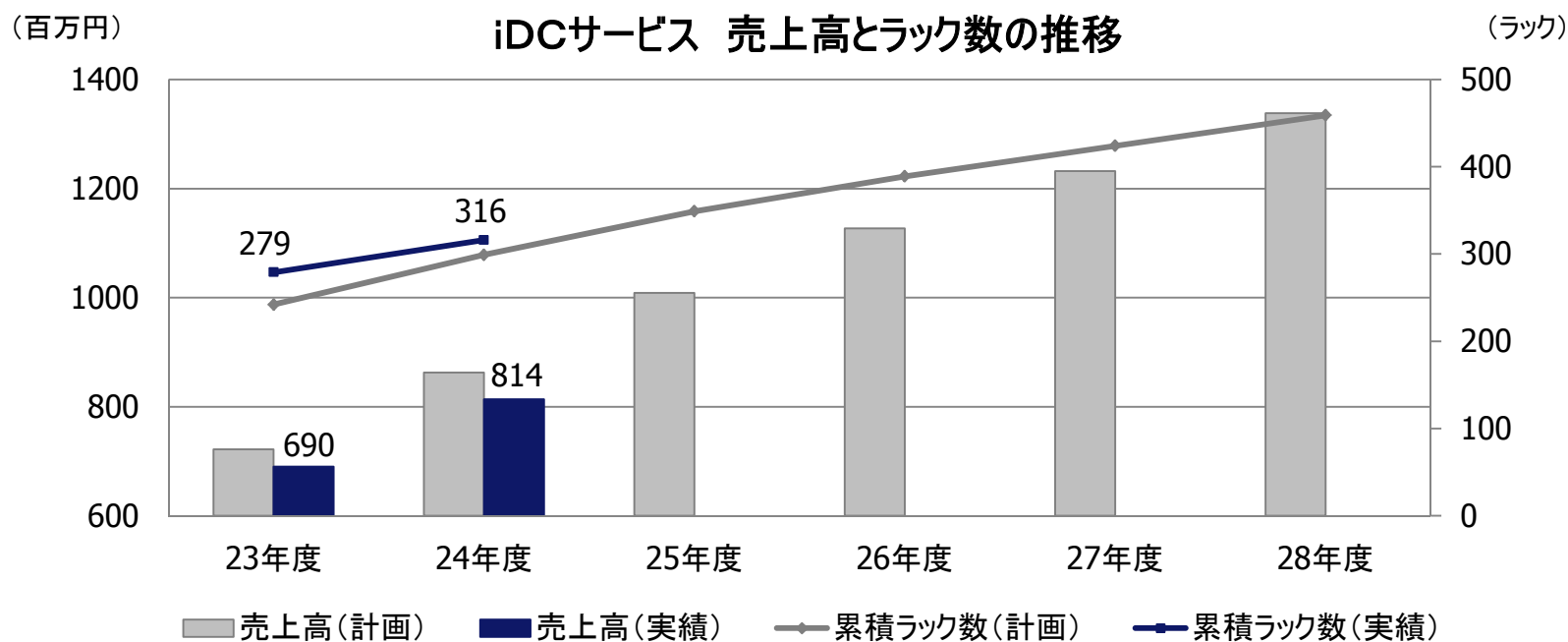


基本方針

1. iDCや運用サービスの強化・拡販
2. クラウドサービスメニューの拡充
3. SIビジネスにおけるITソリューション力の強化
4. 顧客領域毎の戦略的な取り組み強化
5. 新規事業の創出および新規市場の開拓

3-1. iDCや運用サービスの強化・拡販

- iDCサービスの販売・強化
新規商談発掘の徹底強化
オプションサービスの拡充によりiDCの付加価値を充実
- 総合運用サービス強化
iDC、運用、アウトソーシング、ヘルプデスク等のサービスメニュー整備
- 周辺サービス(大量印刷、封入封緘、保存文書電子化等)の競争力強化
需要に対する機器設備の増強



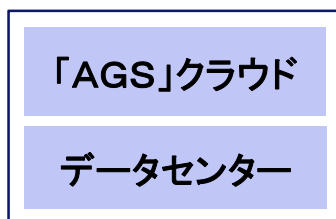
3-2. クラウドサービスメニューの拡充

これまでの「AGS」クラウドサービスを拡充し、新たなブランドとして
「AGS」クラウドα をリリース

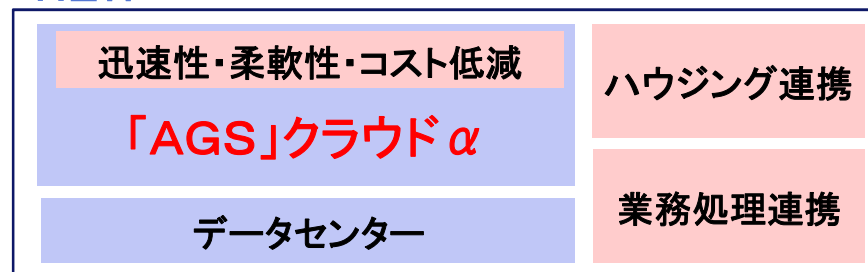
“α”に込めた想い

- + **α** 企業内システム構築における、サーバの設置から支援
- ++ **α** 弊社既存サービスとの連携により、お客様メリットを追求
- +++ **α** 弊社の堅牢／安全なデータセンターがバックボーンになり、お客様のデータシステムを運用

これまで



NEW



<提供サービス>

Secure Remote DESKTOP	パソコンやスマートフォンを通じて社外から社内のパソコンを安全かつ高速に操作できるサービス(2013年2月より)
Secure NVR	ネットワークカメラの映像を当社データセンターにて集中管理、クラウド型監視カメラシステム(2013年3月より)
プライベートクラウドQuick	共有型仮想プライベートクラウド(IaaS)サービス(2013年3月より)

3-3. SIビジネスにおけるITソリューション力の強化

1. 新たな開発手法（開発標準プロセス）の策定
2. 先端ITソリューション事例研究会の開催
3. 業種・業務別勉強会の開催
4. クラウド活用案件の推進
5. テクニカル要員の育成
6. ITソリューション能力に係る社内認定制度の制定と運用開始



ITソリューション力の強化

3-4. 顧客領域毎の戦略的な取り組み強化

金融分野

- リそなグループと戦略的な連携を図り、新たなベース商談を獲得
- 金融ITノウハウやデータセンター等、当社の強みを活用した、リそなグループ以外の顧客の獲得
- 顧客ニーズにマッチした専門性の高い要員の育成

法人分野

- データセンタービジネス及びクラウドサービスの拡販と新規顧客の開拓
- 顧客取引深耕とITソリューション力強化のための高度なIT技術者の育成

公共分野

- 総合行政システム(PubLinker)クラウド化推進等サービス商品の拡大
- 新規取引拡大専任体制の強化
- 次期総合行政システムの検討

3-5. 新規事業の創出および新規市場の開拓

医療・介護福祉・ヘルスケア分野におけるIT事業への参入

- 2年で事業化
- 専門部署新設済
- 今後の展開
マーケット調査実施、参入分野絞り込み、商品サービス選定、営業展開

太陽光発電の事業化

- 平成25年度中の事業化
- 今後の展開
行政とのタイアップ
近隣候補地への拡張(近隣小中学校、当社ビル敷地の活用)
有事の際の活用(指定避難所等、近隣公共施設への電力供給)

行政業務等のBPO事業の拡大

- 現状のスキームを拡充し、事業拡大を図る
- 今後の展開
行政への積極的な提案活動

4. 配当政策

株主の皆様への期待に応える利益還元を実現

- 事業展開強化による企業価値の向上
- 安定した収益に基づいた継続的な配当



※2009年7月付けで1株→5株に株式分割。2009年3月期以前については遡及修正。

【参考資料】新聞掲載情報

当社に関する記事が新聞に掲載されました。

掲載日時	掲載新聞	記事内容	サービス
2013/2/14	日刊工業新聞	AGS 社内パソコン、スマホで操作	Secure Remote DESKTOP
2013/2/15	日刊工業新聞	AGS クラウド型で安く 防犯カメラ映像配信	Secure NVR
2013/2/27	埼玉新聞	AGS クラウド型サービス来月から提供開始 沿革 から一括管理	Secure NVR
2013/3/1	日刊工業新聞	AGS 共有型サービス 専用クラウド並み安全	プライベートクラウド Quick
2013/3/28	日刊工業新聞	AGS クラウド提案力強化 技術者増員、ソフトも 倍に	AGSクラウドα
2013/4/1	情報産業新聞	さいたまIDCの活用でクラウドサービス群を拡充	AGSクラウドα
2013/4/3	埼玉新聞	AGS 企業の用途に合わせたサービスで簡便・安全 な「クラウド」を提供	プライベートクラウド Quick
2013/5/2	日本経済新聞	AGS中堅企業向けクラウド拡充	AGSクラウドα
2013/5/2	日刊工業新聞	AGS医療・福祉分野 データセンター事業で開拓	新規事業 新規サービス

Assuring Growth and Success with IT

『ITで、確かな成長と成功を』



本資料は、この資料に記載しております将来に関する事項は、業界の動向、顧客の状況、その他本資料作成時点で当社が入手可能な情報による判断及び仮定により作成しております。従いまして、これらに内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。